

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1176501193		
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホーム みんなの家・与野本町		
所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東4-17-4		
自己評価作成日	平成27年10月1日	評価結果市町村受理日	平成28年2月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成27年12月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ADLの低下したご利用者様が多いフロアのため転倒には特に留意しています。身体・体力の維持向上を目標に、出来る事や出来ない事の見極めをし、出来る事を提供し、日々の生活に充実感が持てるようなケアを心がけています。また外食や遠出等は難しいのですが、1階ならすぐに屋外に出られる為、個別に近所へ散歩や、外でラジオ体操をするなど、外の空気や季節感を感じて頂ける様な支援をしております。室内ではその方々に合った支援として季節感のある壁面作りや塗り絵などを行っています。職員1人1人がご利用者様の笑顔を引き出し、楽しくやりがいがある生活の場を提供できる様心がけ取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・ホーム長は定期的に職員への聞き取りを実施され、頑張ったところ、努力したところを評価することで職員の介護力や仕事への取り組み姿勢が向上し、結果、利用者のケアへと還元されている。また、夜勤の勤務状況が埼玉新聞と日本経済新聞で取り上げられたことが励みとなり、職員意欲が高められ職員のスキルアップにも寄与されている。  
 ・ご家族のアンケートでも、「一人ひとりの入居者に合った対応をしてくれる」、「スタッフの方はとても感じがいいです。安心して預けることができます」などのコメントが寄せられ、職員の支援について高い評価が得られている。  
 ・目標達成計画については、職員が地域住民側にたった役割りで避難訓練が実施され、地域住民の協力が不可欠であると再確認されたこと、また、家族の協力でも外食や外出支援に取り組まれ、外気に触れる機会を多く持つことに努められたことから、目標達成への取り組みが伺える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念をユニット入口に掲示し、各自理念を意識付け、毎月のフロア会議や日々の申し送りにて各職員に周知して実践に繋げている。	「ゆっくり・一緒に・楽しく」の理念のもと、「第2の家」と思っていたけように、利用者一人ひとりの能力に合わせて、急がず、全員で楽しむことに取り組まれるなど、理念が活かされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	ホームの納涼祭等に近くの保育園児や近隣の同業他施設の利用者様を招待して交流を持っています。地域ボランティアの方にも参加して頂き繋がりを深め交流を図っています。	区民祭りに出かけられたり、事業所の納涼祭には他施設の方や保育園児などが訪れ、ハイキング形式の食事や出し物、ボランティアによる踊りなどが披露され楽しまれている。また、区の民生委員が40名ほど見学されたことから、地域とのつながりの足がかりになればと期待をされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のボランティアの方や随時、見学・説明会等を行い、認知症の理解を深めています。近隣の小学生や中学生の職場体験の学習にも協力しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではご家族や地域包括支援センター職員や行政の職員を交えてホーム内の状況や出来事を報告し、意見交換を行い、今後のサービスに活かせるよう努めています。	運営推進会議はフロアごとに交代で行われ、市や地域包括支援センター、家族の参加を得て、毎回、食事会を兼ねて開催されている。利用者の状況や事業所のイベント情報などを報告され、参加者には利用者が行っている体操も体験していただき、意見や感想は運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の中でホームでの取り組みや研修等で伝えていき、市町村との連携に努めています。	市の研修会にはできるだけ参加し、情報収集を図ったり、市の担当者が運営推進会議に参加していただいていることから事業所の現状がよく把握されており、相談や報告が行いやすく、良好な関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束ゼロ推進」を職員に周知させ、夜間は防犯上施錠していますが、日中は解錠しご利用者様が安心して暮らせていけるよう努めています。	虐待や拘束に関する記事を取り上げ、日々、職員同士で話し合われている。利用者にも、ゆとりを持って接することができる体制を作ることに努めたり、法人からの職員アンケート等から、身体拘束や虐待に関する職員意識を高められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会を通じ、どのような虐待が起こりうるかを職員会議等で話し合い、マニュアルを掲示し事業所内での虐待ゼロに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者の中で保佐人を利用されている方がいらっしゃいます。職員会議を通じ、各職員が権利擁護に関する制度を理解できるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の見学、面談等で利用者様及びご家族との話し合いの場での不安や質問に対し、十分な説明をし、理解して頂けるよう行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には積極的にコミュニケーションをとり、要望やご意見を伺える機会を作っています。ご意見ポストやお客相談室のフリーダイヤルも設置し、運営に反映させる努力をしています。	利用者とは、テレビを見ているときや日頃の様子から察し、希望が叶えられるように努められている。家族へは家族会や面会時等で職員から積極的に話しかけ、意見・要望を聴きだせるように取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個々の意見をじかに聞く個別ヒアリングを設けています。また職員会議及び研修においても意見交換や提案により運営に活かせるよう努めています。	レク活動の提案は多く、利用者と職員が一緒に楽しめる企画が実践されている。ロールプレイングは職員の提案から始まり、集中でき、不穏状態を解消する余暇活動の一つとなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課を通じ、自身の振り返りの場を作っています。日頃の勤務状態やヒアリングにおいて相互確認したり、各自の向上心アップに繋げるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員のケアと力量を把握し、各種研修を開催したり、職員のスキル向上に向けての取り組みをしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修や地域包括支援センターを通じ他施設との交流する機会を設け、お互いを高めあえるような意見交換を行い、サービスの質を向上させよう取り組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にアセスメントや随時モニタリングを行い、利用者様ご本人の思いや不安を聞き出し、安心できる環境、信頼関係を深め、不安等を軽減できる様努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にご家族の悩みや不安や要望などを話し合い、解決に繋げていけるような関係づくりに努めています。またホームのしくみを理解して頂ける様パンフレットなどを作成し取り組んでいます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時の面談等でご家族の悩み・問題等を聞くことにより初期段階として何が必要かを見極めるような対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「ゆっくり・一緒に・楽しく」のホーム理念を念頭に、ご利用者様の出来る事を理解し、共に行うことでどちらかが一方的な立場にならず、共に生活する仲間ととらえ関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の日常の様子をお伝えすると同時にお互いの情報の共有を行い、ホーム行事などの参加を呼びかけ、利用者の状況を共に考え、話し合っていくことで共に利用者様を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族及びお付き合いのあった方々との関係が途切れないよう、連絡がとれる状態を作り、気軽に訪ねて来られるような雰囲気作り行っています。また馴染の美容院や床屋にも行ける様な支援をしています。	友人から手紙やお菓子が届けられる利用者、年賀状を書いて散歩がてら職員と一緒に出しに行かれる利用者もおられる。また、近隣の店での食事など新たな馴染みの関係も築かれ始めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルを囲んで利用者様同士の話の橋渡しができるような支援をし、また気の合う同士で集まれるような座席の工夫や職員の声かけで輪が出来るような場を提供し、共に支え合えるような関係が築けるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もお互いの近況を手紙・電話等で伝え合い、その後のご様子を確認しています。また退居後も訪問や連絡できる環境を作り、相談や支援が出来るよう努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各ご利用者様に居室担当者を置き、随時モニタリングを行っています。またご本人様の希望や意向を把握し、フロア会議において意見を共有し、利用者様本位のケアの提供ができるよう努めています。	利用者に心を開いていただけるように耳を傾けて話しを聴かれ、少しずつ気持ちを引き出すことに努め、例えば、利用者のお国言葉で話しかけたり、問いかけを繰り返すなど工夫した会話で思いを汲み取られている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴をご家族やご本人様から伺いアセスメントを行いながら、今までの生活環境を尊重し、快適な生活が送れるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の連絡ノートを活用し、随時カンファレンスやモニタリングを行いながら、職員が利用者様の状態・情報を共有しています。また言葉だけではなく表情からも変化に気付き、現状を把握できる様努力しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で話し合い、モニタリングし、DrやNs、歯科医などと連携をとり意見を取り入れながら、ご本人様の意向とご家族の意向を反映し、介護計画を作成しています。	居室担当者が中心となり、日々の様子を確認し、変化や課題について検討され、日常のできない部分を支援するための、詳細で具体的な介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に目の届く所に介護計画要約表を常置している。ケアプランに基づいたケアの提供を生活記録に残している。生活記録にはケアプランの実践状況を確認しラインを引いて職員間の共通理解を深めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のニーズに合わせて、訪問マッサージやシニアセラピー、介護タクシーによる外出支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催し物に参加したり、地域ボランティアや近隣の保育園の園児を通じて交流を保つことで楽しく安心した日々を送れるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族や本人の意見を伺いながら主治医を選定しています。主治医、ご利用者様、ご家族の橋渡しをしながら適切な医療を提供できる様支援しています。	契約時に利用者・家族と相談され、主治医を決められている。往診医の紹介で専門病院を受診されたり、救急対応医療機関一覧表も作成され利用者・家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度訪問する医療連携看護師に日常の気づきや状態をその都度伝え、情報を共有し、適切な看護や指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には適切な医療を受けられるよう協力医療機関を定めています。また退院に向けての病院関係者との情報交換にご家族を交え、元の生活に早く戻れるよう支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針を定めたものを用意しています。ホーム内で対応できる事・難しい事、利用者様によって一概に決められず、現状に対応していく旨をご家族にお伝えしています。	利用者の状態の変化に伴い、家族と相談し事業所としてできる最善の方法で対応されている。同じ法人の他の施設を紹介されたり、入院先に見舞いに行かれるなど、看取りに対する事業所の対応は家族からの信頼が得られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全対策委員会を通じながら、急変マニュアルを作成し、起こりうる事態に備えてシュミレーションしながら実践力が身に着くよう職員同士検討しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行い、避難訓練時には夜間を想定した訓練を行ったり、職員全員出来るようローテーションしている。また近隣の事業所やご家族に参加協力のお声かけを行っています。	夜間を想定し、一人の職員がどこまでできるか時間を計り、他の職員が近隣住民の役となり、近隣との連携がなければ安全な避難誘導は難しいことを認識された。また、漏電など電気系統のチェックも月1回職員複数で確認され、火を出さない努力もされている。	保育園の避難訓練にも参加され、園児の避難誘導をされています。今後も地域の方への呼びかけなど周知方法を工夫され、近隣住民との合同訓練が実現されることに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様個々に合わせた対応をしています。特に入浴や排泄に対して個人の尊厳を損ねないように留意し声かけをし対応しています。	利用者へは謙虚な気持ちで接し、洗濯物をたたむ、メニュー表を書いていただくなど役割りを持っていただき、また、個人が特定されない工夫や排便時の臭いにも配慮された対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が全て決めてしまわないように助言に留め、表情や態度により利用者がどのように思っているかを感じ取り決定するまでの手掛かりを掴むよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活スタイルを尊重ながら、希望に沿った過ごし方を支援し、声かけの必要な方には楽しんで出来るようなレクリエーションのお誘いをさせて頂いたり、その人らしい暮らし方が出来るよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望に沿った髪型になるよう、訪問理美容を利用したりご家族の協力の下、行きつけの美容院や床屋で意向に沿った支援をしています。好きな化粧品やシャンプーを使用し身だしなみを整えています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本日の献立表があり事前の楽しみや話題を提供している。職員が同じテーブルと一緒に食事をしながら、楽しい時間を共有しています。	利用者には味噌汁を注ぐ、お茶を入れる、テーブルを拭くなどの行いや、どら焼きやワッフル、たい焼きなどおやつ作りを職員と一緒に楽しんでいる。外食のほか、うなぎや寿司の出前なども盛んに行われ、食べる楽しみがもたらされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の摂取できる食事量、ペース等を確認しています。水分摂取量も職員が把握し、一人一人の残存能力や状態、またその方の習慣を職員間で共有し、その方に応じた支援を努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週1回、歯科衛生士による口腔指導を受け、毎食後の口腔ケアを行なっています。また月に2回歯科医師による訪問指導を行ない、その方にあったお声かけや、歯磨きや仕上げ磨きの介助を行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ひとりひとりの排泄パターンの理解と把握し、その方に応じたトイレへの誘導、お声かけ介助を行い、トイレでの排泄に自立に向けた支援を行っています。	排泄のサインを見逃さず言葉がけにも配慮がなされている。何度もトイレに行かれる利用者へは原因を探り、夢中になれるものは何かを探し行っていただいたことで回数が減るなど、利用者をよく観察し対応されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談しながら、下剤の服薬管理を行い、適度な水分摂取や起床時の乳酸菌飲料の摂取、また体操等で自然に身体を動かす機会を作り便秘の予防に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者様の好みにあわせて、湯温を調節しゆっくり入浴してもらっています。入浴剤を使用したり、音楽をかけながら楽しんで入浴して頂けるよう、支援しています。	タイミングを見ながら声かけを行い、気持ちよく入浴ができるように取り組まれている。浴室と脱衣所の温度差に配慮され、また、リフト浴も設置されており、身体状態に合わせた安全な入浴が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の生活習慣や状況により、夜間の安眠に繋げてようとしています。ご本人の休みたい時に居室で休んで頂けるような支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自、薬表を確認し主治医からの指示や薬剤師からの薬の使用目的、副作用等の指示を受け服薬による変化の確認に努めています。錠剤や粉末の対応等も薬剤師と相談し利用者に応じた支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴から、食器拭きや洗濯たみなどの家事仕事などで、役割を感じて頂き、また散歩やその方の楽しみごとで気分転換出来るよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出掛けたりし、季節感を感じれるように努めています。また地域の催し物への参加やご家族にも協力を得て、外に出る機会を設けています。	事業所周辺のお花見や個別外食など、家族の協力を得ながら、外気に触れる機会を持つことに努められている。また、事業所内に神社と賽銭箱、おみくじを作られ、外出が困難な利用者にも初詣を楽しんでいただけるように取り組まれている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失・盗難及び勘違いによる不穏が発生しかねないので管理者が管理しています。週に1回来る移動パン屋では菓子パンやジュース、牛乳をご自身でお金を渡して買える様に支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたい時には電話を使用できるようにご家族の協力を得ながら支援しています。また友人からの手紙なども本人にお渡しし読んで頂いています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには手作りの壁面飾りで季節を感じて頂ける工夫を行い、室温に気を配り、居心地のよい空間作りを行っています。浴室やトイレには自然や動物の絵を飾り、清潔かつ落ち着いたスペースにしています。	リビングは、毎年干支を題材に作成されたロールピクチャーが飾られ、明るい温かな雰囲気を感じられる。3ユニットのリビングはそれぞれに趣が変わり、職員と利用者の思いが伝わる共用空間が造られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、縁台を置いたり、窓際にはマッサージチェアを置いたりし、お好きな時にお一人でも他の方とも過ごせるような空間を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた椅子や毛布を持参したり、思い出の写真、ホームで撮った写真、レクでの作品など、本人が喜んで頂けるような工夫をしています。	職員と利用者と一緒に作成されたロールピクチャーが表札として飾られ、自分の部屋であることが印象付けられている。また、介護用コミュニケーション支援ロボットを使い、家族との会話を楽しんでいる利用者もおられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入口にご自身で作った表札を貼り、安心して生活出来るよう支援しています。手すりの使用や車椅子の自走が出来る環境を作り、安全かつ自立した生活が送れるよう支援しています。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホームみんなの家与野本町

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、年2回の夜間を想定した避難訓練を行っているが、地域住民の協力はあまり得られていない。	現在、近隣の小規模多機能型施設職員や保育園の職員等には参加して頂いているが、一般地域住民の協力も得られるようになっていきたい。	訓練時のポスティングも実施しているが、なかなか周辺住民の参加には繋がっていない。訓練の告知を直接住民にお伝えし、参加頂ける様にしていきたい。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。